

平成 30 年度インターンシップ実習生受入テーマ「室内実験による岩石摩擦特性の調査」

実習内容

地震現象の本質は断層の摩擦すべりであることから、岩石の摩擦特性を調査することは地震現象を理解する上で重要である。特に、一般的な自然地震では1メートル毎秒といった高速度で断層がすべることが知られており、そのすべり速度を再現した条件下で特性を調べる必要がある。本実習では、防災科学技術研究所が所有する高速せん断摩擦試験機を用いて摩擦実験をおこない、高速域における岩石摩擦特性の調査を通して、岩石摩擦および地震発生機構に関する理解を深めることを目的とする。調査の一環として岩石試料の成形も実習生が自らおこなうこととし、各種のデータ取得を目的とした測定の基礎を学習する。

受入条件

大学および大学院に在籍する学生（大学3年以上）

地球科学、とくに、地質学や地震学に関心があることが望ましい

実験データを整理、表示するための基本的なパソコン操作ができることが望ましい

受入人数

1～2人

実習期間およびスケジュール

平成 30 年 7 月 2 日（月）～8 月 31 日（金）中の 10 日間

- | | |
|--------|---------------------|
| 1 日目 | オリエンテーション |
| 2-3 日目 | 岩石試料成形 |
| 4-5 日目 | 高速せん断摩擦試験機を用いた実験（1） |
| 6-7 日目 | 高速せん断摩擦試験機を用いた実験（2） |
| 8-9 日目 | 実験結果の取りまとめ、レポート作成 |
| 10 日目 | 成果発表会 |

（スケジュールは実習の進捗によって変更する可能性があります）